

「正しいがん情報の探し方と伝え方」

- 1 アイスクレイク
- 2 患者家族の気持ちの理解
- 3 がん相談支援センターの紹介
- 4 がん情報の探し方と伝え方
- 5 意思決定支援
- 6 まとめ



2020年1月27日(月)
地方独立行政法人 大牟田市立病院
がん専門相談員 医療ソーシャルワーカー
北嶋晴彦

情報リソースと提供のポイント(一部)

治療は最終的に主治医としっかり相談して決めること

相談者の知りたい情報や目的(理由)を確認する

公的および学会の書籍(報告書)やホームページを確認

専門的な相談ができる窓口を紹介する

多量な情報のためにかえって混乱している場合がある

自分の都合の良い情報のみを集めてしまうことがある

標準治療を十分検討せずに民間療法を始める心配もある

学習目標

- ・コミュニケーションスキルを活用して相談者の心配ごとを理解・想像することができる
- ・正しいがん情報のリソースを知る
- ・相談者に合わせた適切な情報提供ができる
- ・がん相談支援センターを紹介することができる

正しい情報提供で相談者を支えるために(まとめ)

病気のことは主治医にしっかりと相談するように伝える

コミュニケーションスキルを意識して相談者理解をする

その人に合った正確な情報を伝える(質・出典・方法)

必要に応じて専門家へつなげる(がん相談支援センターなど)

サポートの継続性を保証する